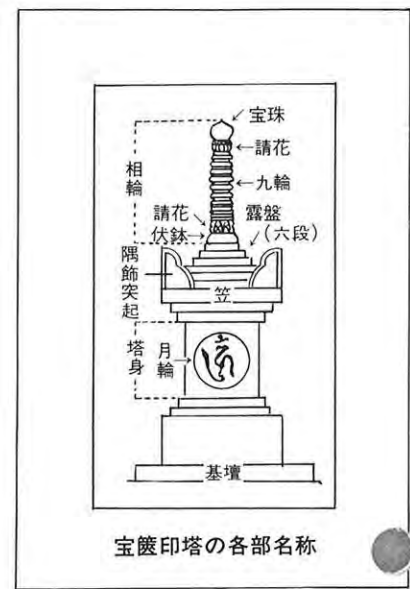


くまとの
文化財

県指定重要文化財

＝寺尾野の宝篋印塔＝

菊池市寺尾野



宝篋印塔の各部名称



熊本にて
熊暮らして



D・Rモリソン「グローブ」

私は三年前から熊本で暮らしていて、今では、熊本を故郷のように思っている。人々は親切で親しみやすく、常に私の気持ちをなごませてくれ、外国からやって来た私のことを理解しようと努めてくれる。日本人は概して、非常に知識欲旺盛であり、勤勉である。私の国イギリスを含めて西欧では、最近まで、日本に関する情報・知識と言えば、工業技術の発達した国であること位しか、一般には知られていなかった。国際舞台の壇上

での日本は、まだニューフェイスであり、特に他国との経済関係の分野においては、未知の部分が多いようである。ところで、片言の日本語しか話せないガイジンには、よく笑い話のようなおもしろいことが起こる。あるレストランへ行った時のことだが、ウエイトレスにエビピザを注文したところ、エビとヘビを聞き違えて、一瞬、なんとも形容しがたい顔をされたことがあるが、思い出すたびにおかしくなるのである。これに似たような事はよくあり、微妙な発音の違いで戸惑うことも多いが、地方で生活しているせいも、四季の移り変わりを敏感に感じたり、人々の生活習慣等を体験することができた。これは、東京のような大都市で生活する外国人には、わからない事であろう。日本に限らず、その国の本来の姿を知るためには、都会から離れてみなければならぬと思う。地方には素朴で美しい自然があり、独特の生活様式がみられる。外国人の多くが、大都市だけを見て、通り過ぎて行くのは、非常に残念である。もっと外国人の目を九州・熊本に向けさせるP・Rができないものだろうか。世界に類をみないほどの、スピーディで信頼できる交通機関があるのだから、尚さらそう思うのである。

(英国出身)

のさ
然し
自美



ハロルド・グラサー

私が当地にいる一か月の間に決して熊本県全体を見たわけではありませんが、いくつかの点で熊本県に感銘をうけておられます。

現在まで私は殆んど時間を熊本市内で過ごして来ました。日本では地平線を眺めずと熊本城から眺めた場合のように、市と呼ばれるような場所が非常に少なく、そこでは人目につくような工場の煙突は殆んど見当りません。重工業があまりないのに町の原動力となるものは何だろうか私にはさだかではない。

しかし、熊本市は手頃な市であり、若し建設中のビル数がその裏付けになるとすれば熊本市は発展しつつある都市であります。

私は水俣市にはまだ行ったことはないが、熊本県にやって来るすべての外国人は、水俣病の悲劇についてある程度の知識をもってきている。県の国際的な評判

が応々にして水俣病と結びつけられることは不運なことであり又、不公平なことでもある。しかしながら、熊本を訪れる外国人は誰でも熊本が日本の他の地域ほど公害に犯されていないことにすぐ気付くだろう。

発展の問題は別にして、熊本には豊かな文化がある。何が人々の集団に、共通的な同一性を与えているかを指摘することは常にむずかしいが、「熊本弁」がその一つであると信じています。がしかし、私はまだ標準語に苦勞をしていません。県には自然の美しさがある。日本の風景というのは、険しくそびえ立つ山があつて、そこに小さくて狭い谷があるものとばかり思っていました。阿蘇の広大な美は違つたものです。

すでに述べましたように、私は熊本に生活して一か月にしかありませんが、熊本の土地と人々に対して愛着心を感じています。アメリカへ帰国する時期になったら、別れが大変つらいことだろうと思つています。

(米国出身)

宝篋印陀羅尼経は、梵語で書かれた一字一字を、原語のまま、読誦することによって、諸々の障害を除き、種々の功德を受けるといふありがたいお経であるといわれているものであり、この経本を納めた供養塔を宝篋印塔とよんでいる。

石造の宝篋印塔は、鎌倉時代中期から造立されているもので、造立初期の隅飾突起が直立する重厚なものから、大きく反りかえった江戸時代のものまで、時代によって特色を異にしている。

この寺尾野の宝篋印塔は、大円寺参道脇に完全な姿で保護されており、塔身の細刻から天授四年(一三七八)、蓮忍によって造立されたことがわかる。

大円寺は、終始南朝に忠節を盡し、元弘二年(一一三三)、博多にあった北条英時の邸内に討入り、父である菊池武時と共に壮烈な戦死を遂げた隆舜の生前の建立といわれている。

この天授という年号も南朝年号であり、菊池氏の衰運を前に、先祖の霊を供養し、あわせて、諸々の功德を願って造立されたものである。

高さ／二・〇八メートル

(昭和四十年二月二十五日指定)